

IV. めずらしい植物

○私たちの館岩村は、日本最大の^{こうそうしつげん}高層湿原である「尾瀬ヶ原」を^{お ぜ が はら}間^ま近^{ちか}にひかえており、そこでたくさんのめずらしい植物を観察することができます。また、^{たしろやま}田代山も尾瀬ヶ原のような湿原になっており、



ミズバシヨウ

少し足を伸ばせば、^{ふだん}普段、私たちが見なれていない植物たちを観察することができます。

ニッコウキスゲ



これらの植物は、私たちが見なれている植物にくらべると、気温が低いというだけでなく、水の流れが悪く栄養が少ない土地で生きなければなりません。ですから、モウセンゴケの仲間は、^{しょくちゅう}食虫植物^{えいよう}といって、虫をとらえて栄養にしている変わった植物です。



モウセンゴケ



モウセンゴケ

○みなさんは、こんな植物を見たことはありませんか。木の枝に生えているのはヤドリギ^{よう}といって、ほかの植物から、養^{よう}分^{ぶん}を横どりして生きているのです。これらの植物は^{きせい}寄生植物とよばれています。



ヤドリギ